

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

人になれ 奉仕せよ

聖句：	あなたがたの光を人々のまえに輝かしなさい。	(マタイによる福音書5：16)
保育目標：	0歳児 ・周りの様子を感じて、色々なことをしてみる。 1歳児 ・友だちや保育者と楽しんで身体を動かして遊ぶ。 2歳児 ・自然の面白さや季節の変化を感じて楽しむ。簡単な身の回りのことをやってみようとする。 3歳児 ・季節を感じ、身体を動かす心地良さを感じる。リズムや音楽に合わせて動く。 4歳児 ・友だちと一緒にでも一人でも、夢中になって遊びを探究する。 5歳児 ・静と動の両方の時を豊かに心地良く過ごす。絵本や物語をゆっくり楽しむ。	

朝晩に吹く風が涼しくなり、夕暮れになると虫の音が聞こえ、“ああ、秋だな”と感じられる頃となりました。園庭やエントランスの自然がよみがえるために造園の方に入っていただき、草むしりや剪定をお願いしています。随分と広く感じるようになった駐輪場や外フェンスには、また新しい草花を植えようと考えています。

過日、大学のグラウンドをお借りしてフィールドデイ（フィールドで、子どもも大人も心と体をたくさん動かして楽しむ一日）を行うことができました。皆さま、ありがとうございます。ただ、日が射すと少し汗ばみ風が吹くと涼しいといった天候で、夏日にならなかったことにホッとしています(神さま、感謝します)。今回は、初めての試み『午前中に全学年で楽しもう！』と計画して行ってみましたが、いかがでしたか？

私たちは子どもが体を使って表現することを楽しんでほしいと願い、フィールドデイのプログラムを考えています。日頃の生活の中で、子どもたちが興味を持って繰り返し楽しんでいることや面白がっていることを取り入れ、当日お家の方と一緒に行うことが楽しみになるように、グラウンドに幾度か足を運んで遊んでみました。子どもたちは、広～いグラウンドの雰囲気十分に味わって満足気な様子で園に戻ってきていました。

プログラムの中にはかけっこのような競い合う内容もあります。でも、ただ速く走ることに着目するのではなくゴールに向かって走ること(年少)や自分の持っている力を十分に発揮すること(年長)を大切にしています。『勝ちたい！』『負けたくない！』気持ちはもちろんあるでしょう。そのために頑張ることも素敵なことです。でも、負けたらだめなのではなく、また頑張ろう！と立ち上がることや勝ったら頑張った自分を素直にほめること、そしてお互いのよかったところを見つけて認め合うことができたのもっと素敵ですね。

フィールドデイの体験を積み重ねていくと、取り組む内容が『楽しい！面白い！』から『できるかな、やってみよう！ドキドキするけど、大丈夫！』に変化していき取り組み方も『自分』から『自分たち』に変化していきます。乳児や年少クラスの子どもの楽しむ姿は年長クラスの子どもの今の姿につながっているのです。楽しんで自分らしく表現できるからこそ、持てる力を十分に発揮できるのでしょう。子どもたちの育つ力に、私は驚かされるばかりでした。ちなみに…かけっこズリズズズにエントリーした私はその日の夜から生まれて初めて太ももの前面が筋肉痛という経験をしました(笑)

10月は、朝晩涼しく日中も過ごしやすくなってほしいですね。この夏があまりにも暑くて季節を楽しむことが難しかったので子どもたちと秋をたくさん感じて楽しみたいです。遠足や散歩などに出かけて行き、自分たちの身近にある自然の移り変わりを子どもたちと見つけて、一緒に面白がって不思議がって秋を満喫していけるといいなと思っています。園庭は、もちろん子どもたちにとっていちばん身近な自然でしょう。自由に空を飛んでいるトンボ、頭の上から落ちてくるドングリやシイの実、赤や黄色の落ち葉、高い青空、ほうきで掃いたようなすじ雲…どれも神さまが私たちに創ってくださったかけがえのないものです。その中に身を置いて深呼吸するゆったりとした時間を大切にしながら、子どもたち一人ひとりの育ちの節目を支えていきたいと思っています。

いつも見守って下さる神さまの大きな御手の中にいることに感謝して、子どもたちとともに歩んでいきたいと思っています。

園長 鈴木 直江